

## 鶴見区区政会議 平成30年度第1回防災・防犯部会

### 1 日時

平成30年6月29日（金） 19時00分～20時52分

### 2 場所

鶴見区役所 4階 402会議室

### 3 出席者

（委員）

田中部会長、西口副部長、内野委員、岡出委員、西村委員

（区役所）

河村区長、野村副区長、尾崎市民協働課長代理、前田市民協働課担当係長、  
黒田市民協働課担当係長

### 4 議題

1. 平成30年度鶴見区区政会議の進め方について
2. 平成29年度鶴見区取り組み実績・評価について
3. その他

### 5 議事

開会 19時00分

○前田市民協働課担当係長 皆さん、こんばんは。足元の悪い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。まだお越しになられていない方もおられますが、定刻7時になりましたので、ただいまから鶴見区区政会議、平成30年度第1回防災・防犯部会を開会いたします。

私、本日の司会を務めさせていただきます市民協働課の担当係長の前田でございます。よろしくお願いいたします。

まず、冒頭にお知らせがございます。長年鶴見区の区政会議の委員を務めていただき、ご尽力賜りました当部会の東浦委員が本年3月にご逝去されました。改めまして、これまでのご功勞につきまして、お礼を申しあげるとともにご冥福をお祈りいたしたいと思います。

つきましては、東浦委員にかわりまして、新しい委員の方をご紹介させていただきます。鶴見区地域振興会から新たに委員に就任していただきます西村委員でございます。

○西村委員　初めてでございます。西村です。よろしくお願いいたします。

○前田市民協働課担当係長　ありがとうございます。それでは、開会にあたりまして、河村区長からご挨拶申し上げます。

○河村区長　皆さん、こんばんは。今日は第1回目の防災・防犯部会ということで、雨も降ってまいりましたが、遅い時間お集まりいただきまして、ありがとうございます。

今日は29年度の鶴見区のいろいろな防災・防犯にかかわる取り組みについて、ご説明させていただいて、また我々なりの振り返りもさせていただいて、今後30年度、また31年度、いろいろ事業を展開していくにあたってのお知恵を拝借できればなどというふうに考えております。

先週、地震もございまして、今回、防災・防犯部会ということですが、いろいろまた、それにまつわるお話もあるのではないかなというふうに思っておりますけれども、一つご意見を頂戴してまた、区政に活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○前田市民協働課担当係長　それでは、早速ですが、これより議事進行を田中部会長にお願いいたします。部会長、よろしくお願いいたします。

○田中部会長　皆さん、こんばんは。部会長の田中です。着席してやらせていただきたいと思っておりますので。

今日は30年度初めての部会ということで、よろしくお願ひいたします。先ほど事務局の前田さんのほうからもお話ありましたように、東浦委員が今年3月逝去されました。長年の町会活動、あるいは連合町会の活動をやってこられまして、確か3期6年ですか。それから、連合町会長としてですね、町会の関係の仕事というのは、確か私の記憶では18年とおっしゃってたですか。若い間から取り組んでいろいろと鶴見のためにご尽力いただいて、本当にご冥福をお祈りしたいと思います。

それでは、早速ですが、議題1の平成30年度鶴見区区政会議の進め方について、事務局のほうから説明をお願いいたします。

**○前田市民協働課担当係長** それでは、平成30年度の鶴見区区政会議の進め方につきまして、資料に沿ってご説明いたします。座らせていただきたいと思います。

それでは、資料1の平成30年度鶴見区区政会議スケジュール案をご覧ください。本日、机の上に置かせていただいております資料がございます。

まず、本日の第1回部会におきまして、平成29年度鶴見区の取り組みの実績・評価などに関するご意見を部会ごとに頂戴したいと存じます。第1回部会后、8月末ごろに全体会を開催いたしまして、各部会で出されましたご意見を共有化するとともに、所属部会以外の項目につきましても、対極的な見地からご意見をいただきたいと考えております。

次に、9月の第2回部会では、来年度平成31年度の区運営方針を作成するにあたって、まずたたき台を部会ごとにお示しし、委員の皆様のご意見をいただきたいと考えております。

その後、11月の第2回全体会は素案をお示しし、ご意見をいただきたいと考えております。年度終盤の2月には、第3回全体会として区政会議でのご意見を受け、策定した区運営方針案、予算案について、ご説明させていただく予定としております。

平成30年度の鶴見区区政会議の年間スケジュールについてのご説明は、以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○**田中部会長** 今の説明について、ご質問、ご意見ございますでしょうか。特にございませんか。

それでは、次の議題に進めたいと思います。議題２です。平成２９年度の実績・評価と、それから平成３０年度の実績・評価について、戦略ごとに事務局から説明をお願いいたします。

最初に、街頭犯罪、交通事故の少ないまちづくりからお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

○**前田市民協働課担当係長** それでは、資料２の平成２９年度の実績と評価をご覧ください。これとは別に資料３といたしまして、大阪市統一様式へ自己評価を追記いたしました平成２９年度鶴見区運営方針を送付いたしておりますが、詳細にわたりますので、本日は部会所管の課題につきまして、資料２平成２９年度の実績と評価によりまして、ご説明させていただきます。

平成２９年度の実績と評価についてでございますが、具体的取り組みの有効性を評価することにより、必要な施策の改善・見直しを行い、今年度平成３０年度の取り組み、さらには次年度平成３１年度の運営方針予算編成への反映を図ることを目的に行っております。

それでは、区役所が行いました平成２９年度の実績と評価につきまして、また３０年度の取り組みについて、ご説明いたします。なお、資料２には平成３１年度の方向性と題して、空白の欄を設けております。説明をお聞きいただきまして、こちらにつきましてもご意見をいただきますように、よろしくをお願いいたします。それでは、ご説明いたします。

○**黒田市民協働課担当係長** 説明に入らせていただく前に、私は今年度、初めて防犯担当をさせていただきます市民協働課の黒田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、着座させていただきます。説明のほうをさせていただきます。

私からは、経営課題4です。安全なまちづくりの4の1街頭犯罪、交通事故の少ないまちづくり、地域関係機関と連携した防犯対策事業について、ご説明申し上げます。29年度に取り組みました「実績・評価」を中心に説明をさせていただきます。

これまで、区政会議でのご意見にもありました「防犯カメラ作動中のプレート設置」や「のぼりなどを活用し、区を挙げての取り組みをアピールしてはどうか」などの「街頭犯罪抑止効果をねらった取組み」について、ご意見を踏まえまして、資料にありますとおり、「防犯カメラ30台」、「防犯プレート50枚」、「防犯に関するバナー7枚」の設置を行いまして、当初の計画どおり進めることができました。

とりわけ、防犯カメラについて、29年度は30台を設置しまして、区内合計319台のカメラが設置され、防犯環境整備を進めることができました。お手元にカラー刷りの資料があるかと思えますけれども、茨田西地域のものでお話をさせていただいていますが、このような位置にカメラを設置させていただいています。

防犯カメラですけれども、平成25年度以降に区が設置しました防犯カメラにつきまして、耐用年数が6年とされておりまして、今後平成31年度以降に取りかえを行っていく必要があると考えております。防犯プレートにつきましては、防犯カメラ設置に伴う従来のプレートとは別にプレート自体そのものを大きくしたものを作成し、設置を希望する地域の各所に取りつけていただき、防犯環境整備を進めることができました。

また、バナーについてですが、写真にもありますとおり、「区役所、警察署との間の街路灯」に防犯啓発標語、還付金詐欺の注意だったり、車上ねらいの注意喚起、防犯一斉行動の実施日の啓発文言のバナーを設置しまして、区としての防犯推進の機運を醸成することができました。

次に、「防犯推進委員を中心に、各地域団体・関係機関が連携した区内一斉活動」についても、毎月第2金曜日に各地域の青パト隊や各種団体と連携し、区が一体となった防犯活動を実施することができました。参加者数の減や固定化があるものの、取

り組みとしては必要と考えておりまして、本年6月号の広報紙に「防犯一斉行動の実施日の啓発」を行いまして、引き続き区民への参加の呼びかけ、防犯意識の向上や犯罪抑止の環境づくりを進めています。

次に、「区役所、警察署、各地域防犯組織による合同連絡会の実施」についてですが、平成29年6月26日に、区役所におきまして開催し、犯罪発生状況や事業計画などの情報を共有し、地域関係機関が一体となって、安全なまちづくりへの取り組みとなりました。

次に、「26（ツーロック）の日の鍵の取付キャンペーン」及び「ひったくり防止カバー取付キャンペーン」の実施について、年12回開催し、「自転車盗」については前年に比べてマイナス6件の減となっております。平成28年度は、18件に対しまして、平成29年度は12件となりまして、6件の減となっております。「ひったくり」につきましては、前年に比べて1件の増となっております。平成28年度は5件に対しまして、平成29年度は6件となりまして、1件の増という形になっております。

また、近年街頭犯罪の中でも、鶴見区管内では「車上ねらい」や「部品ねらい」が多く発生しており、街頭犯罪減少に向けて、引き続き取り組んでいきますが、個人に対する意識や行動につながっていないというような課題があります。

続きまして、「30年度の取り組み」ですが、ご覧のとおりほぼ継続して防犯活動に取り組んでいますが、先ほど説明させていただきました「車上ねらい」、「部品ねらい」が多発しており、継続事業の中でも「広報媒体を活用した防犯啓発」を重点的に実施し、区ホームページやツイッターなど、あらゆる媒体を活用し、情報提供をしていきたいと考えております。

また、31年度の方角性についてなんです、空白にしておりますが、こちらのほうもご意見をいただきたいと考えております。以上、私からの説明でございます。

○前田市民協働担当係長      それでは、引き続きまして、地域関係機関と連携した交

通安全対策事業を私、前田から説明させていただきたいと思います。

まず、実績・評価についてのご説明ですが、その前に計画といたしましては、交通事故防止や自転車マナーの向上をめざし、さまざまな年齢層に対しての啓発活動等を行うということでございます。交通安全に関する意識が高まったと感じる区民の割合60%以上の目標に対しまして、85.7%の方に知識が高まったと感じていただいております。

それでは、実績・評価についてのご説明をさせていただきたいと思います。前に写っております写真のように、子育て層への交通安全教室を区内全12地域で開催しております。「子育てサロン」で各1回ずつ実施しました。つるりっぷに参加してもらうなど実施方法を工夫して行った結果、参加していただいた方からは、「今後の交通安全に役立つ」という意見を多くいただいております。

次に、高齢者への交通安全研修会でございますが、10月11日に区民センターで開催しました。鶴見警察署や府警本部の女性警察官が演じる寸劇により交通安全教室などを行いました。研修会開催の通知は、老人クラブなどを通じまして、周知を行いました。参加者が少なかったために今後は、広報紙やホームページなどでも周知を行いたいと思っております。

次に、園児への交通安全教室でございますが、12月1日にのぎく保育園、1月18日に横堤みのり保育園、2月22日にほっぺるランド鶴見緑地に行きまして、園児の方にわかりやすく交通安全ルールを守るなどの啓発を実施しております。

また、鶴見警察署、学生と協働した自転車マナーアップキャンペーンにつきまして、春と秋の交通安全キャンペーンにおきまして、区内の主な交差点で春、秋2回ずつ実施しております。区民の方や高校生ですので、同年代の高校生に対しまして啓発を行っております。4月11日には茨田高校にお願いしました茨田浜交差点で、4月13日には緑1丁目南交差点で鶴見商業、秋は9月21日に緑1丁目南交差点で鶴見商業、9月25日は茨田浜交差点で茨田高校の方をお願いしております。このほかにも期間

中は放出駅前で行われましたオープニングキャンペーンに汎愛高校の生徒さんに参加していただいております。

次です。写真がございます。今映っております写真のように、スタントマンによりますスケアードストレート方式の交通安全教室につきましては、2回予定しておりましたが、1回は残念ながら天候不良のために中止させていただきました。11月19日、日曜日に鶴見緑地第2運動場で開催いたしました。目の前で交通事故の模擬再現を行うことで、恐怖を実感させて、交通ルールを守ることの大切さを知っていただけるように工夫されたプログラムでございます。当日は、鶴見警察署の警官によります講話や日本損害保険協会によります自転車保険加入促進のためのブースや講話を行ってもらったほか、会場にはふわふわドームを設置して、小さな子どもさん連れ家族に対する啓発を行ってまいりました。この模様はY o u T u b eで動画配信いたしました。広く交通安全啓発が行われるようにしています。

次ですが、写真にございますように駐輪場マップを現在、区のホームページに掲載しております。また、放置自転車啓発活動でございますが、放出、横堤、今福鶴見の各駅前でも月1回ずつ実施しております。3駅での放置自転車数は、毎年11月に実施いたします放置自転車台数調査時点で、82台と現状は下げ止まりの状況でございます。また、これ以上は放置自転車台数を増加させないように今後も引き続きまして、地域と警察、建設局などの関係機関と協働して啓発を行ってまいります。

続きまして、30年度の取り組みでございますが、これらにつきましても継続いたしまして、交通事故防止や自転車マナーの向上をめざしまして、啓発活動を行ってきたいと思っております。子育て層や高齢者、園児への交通安全教室を継続して行ってまいります。警察署、高校生と協働いたしました自転車マナーアップキャンペーンにつきましても、春と秋の交通安全週間にて行います。既に春のキャンペーンで、2回は実施しております。4月10日と4月12日に交差点で行っておりますほか、オープニングキャンペーンで汎愛高校にも参加していただいております。

また、スケアードストレート学習でございますが、今年は11月17日に昨年、雨のためできませんでした今津公園で予定しております。目の前で実演するのは今年度限りでございますが、当日の模様をDVD化して、交通安全教室などで啓発を行っていく予定でございます。

地域・関係機関と協働した放置自転車啓発活動も引き続き、鉄道駅で実施してまいります。ここには記載されていませんが、区内の幼稚園、保育園児とその保護者約800名が参加いたしました子ども安全大会が6月27日に区民センターで開催され、交通安全に対する啓発活動を行っております。

以上で交通安全対策に関する説明を終わらせていただきたいと思います。あわせて、31年度の方向性のご意見もよろしくお願いたします。

**○田中部会長**      ありがとうございます。

ただいま、事務局のほうから、「街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり」について、平成29年度の実績・評価と平成30年度の実績・評価についての説明がございました。ここで、皆様のご意見をいただきたいんですが、平成31年度の実績・評価についても、方向性について何か意見がございましたら、あわせて出していただけたらと思います。よろしくお願いたします。何か今の説明でわからないとか、もう一度聞きたいとか、ご意見、よろしくお願いたします。

**○岡出委員**      まとまっていないですけど、いいですか。小さいお子さんと高齢者中心にという交通事故の取り組みをされていますけれども、30代、40代や子育て層のお母さん方の自転車の乗り方はほんまに怖いなと感じています。ということで、交通事故の年齢別は事故数どこが一番ピークなのですか。やっぱり高齢者と子どもさんなんですか。それだったら、これで合っていると思うんですけど、間の世代が多いんだったら、もっと別のことも考えていかなあかんの違うかなと、今お聞きして感じた次第です。よろしくお願いたします。

**○前田市民協働課担当係長**      ありがとうございます。年齢層で言いますと、若い方、

高校生とかというのは多くございまして、今まで区内の高校でも実際にスクアードストリート学習、目の前で見ていただけるという交通安全教室は行っておりますし、ご説明させていただきましたように、高校生の方にも参加いただきまして、交通安全週間のキャンペーンで一緒に啓発を行うということで、啓発のほうも行っていきます。

**○田中部会長** 岡出委員がおっしゃったように事故の中身、年齢層・特にそのこのころをあわせた対策というのが大事やと思います。これは、今区役所としてはわかるんですけども、警察の問題かわかりませんが、その辺も情報を共有しながら、対策を立てていただきたいと思います。

特に若い人、高校生、それから若いお母さん、それと今言われた30代、40代の私の想像ですけどこの辺がきっと多いと思います。だから、もちろん子育て層に対する交通安全ととらえているということは、お母さん方も出席されているので、役には立っていると思います。しかし、特に30代40代の方々は、私の経験では勘がいいわけですね。右と左を見て、ピューッとこなかったら信号無視して行っちゃうと。そういうことが結構あるように思います。その意識改革がなければなかなかルールを守っていただけない。それをどういうふうにするかというのは、警察も交えていろいろ研究というか検討する必要があると思うんです。これは、区役所だけの問題じゃなくて、特に話が長くなりますが、高校生が交差点で、キャンペーンをやっておられるというような説明があったと思うんですが、通学路ですね、それも時間帯、彼らは8時半ぐらいまでに、校門まで入らないとあかんのですよね。でないと、遅刻にされちゃうので。その10分か15分前はたっと走っていくと思います。信号無視もあると思いますし。仲よく2列で話しながら自転車に乗って行くとか、右側通行しているとか。そういうのをよく見かけます。だから、学校のほうへの協力も一度先生方も巻き込んで、対策を考えられたらと思います。時間帯に校門だけじゃなく通学路に先生に出ただいて、そういう実態とお見せするのもいいんじゃないかなというふうに思うんですけど。

○前田市民協働課担当係長 貴重なご意見ありがとうございます。今後、学校と警察を含めまして、ご意見をいただきましたようなことで、できることがあれば実施していきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。特に学校の先生方は通学路での状況をご存じとは思いますが、再度伝えまして学校の中でも交通安全啓発を図っていただけるように、お願いしてまいりたいなと思っております。よろしく願いいたします。

○内野委員 自転車のマナーのところでたくさん取り組んでおられるわけですが、具体的にはマナーを中心にしたものになるのでしょうか。例えば、交通安全なんかでそういうところに行かせてもらうと、交通安全ルールを守ることの大切さとか、ルールをきちっと説明するのと、あわせて万が一のことが起こった場合に、どれだけの自己責任を求められるのか、どれだけの賠償が必要になるのか、相手にどんな迷惑をかけるのか、ダメージを与えるのかとか、それから回り回って自分だけじゃなくて、家族も巻き込んだ大変な状況になるというものが二つセットにされていて、これは気をつけなあかんと、大体思うわけですけど、自転車マナーというのも、そんな構造になっているのでしょうか。

○前田市民協働課担当係長 昨年行いましたスケアードストレート学習の会場では、先ほどご説明させていただきました日本損害保険協会の方に講話をいただきまして、実際、スケアードストレートというのは、交通事故の模擬再現で、それを見て交通ルールのマナーを交通ルールを守ることの大切さ、マナーを守って交通事故をなくすという。損害保険協会の方につきましては、今まさしくおっしゃっていただきました賠償が生じる、相手方にも迷惑がかかるし、今までで最高でも約1億円の損害賠償の請求がきているというお話を中心に、自転車保険加入側も義務化されておりますので、そのお話もいただいております。

○田中部会長 区役所や町会で、自転車保険のあっせんはあるんですか。

○前田市民協働課担当係長 行政としましては、あっせんはございませんが、大阪

府からいただきますチラシに、何社か掲載されています。

○内野委員 町会で僕ポスター貼りましたから、市民共済があります。

○前田市民協働課担当係長 市民共済もそうなのですが、大阪府からのポスターに何社か裏面に保険会社名が掲載されていまして、もし聞かれればそれをご案内させていただきます。

○田中部会長 すごい損害賠償を請求されることがありますからね。1億と今おっしゃいましたが、1億いかんでも、数100万だって大変ですからね。

それと、もう一つこういう犯罪、非常に犯罪率が最近、トータルとして見た場合、認知件数というのが減ってきております。ここ10年ぐらいで、3分の1ぐらいになったというふうなことを聞いているんですけど、その最大の効果が何であったかというのを分析した、そういう資料がありまして、防犯カメラであると。防犯カメラ319台すごい数設置していただいています。これは、抑止効果も含めまして、犯人逮捕にもつながりますし、逮捕するということは抑止効果がものすごくあるのでぜひ今のペースを維持していただいて、319台体制というんですか24台また、増やしていただけるということなのでただ、耐用年数がございますから、6年とおっしゃいましたか。だから、その辺を考えに入れながら300台ぐらいは常時稼働しているというふうにしていただけたらいいんじゃないかなと思いました。

○内野委員 そのことについてですけど、319台というのは、設置されたのは区が中心になって設置された台数ですか、事業者も含まれているんですか。

○黒田市民協働課担当係長 319台につきましては、区が設置したものもありますし、例えば都市整備局が設置したカメラもあります。公的な形で設置させていただいた台数としまして、319台今のところはあるという形になっております。

○内野委員 事業者の方も法人の方も防犯カメラを結構つけているんですけど、事業者の人たちは、例えば店舗なら店舗の中だけとか、店舗の入り口とかは設置されるんですけど、入り口のところを例えば角度をもう少し公道側につけるだけで、防

犯効果というのはすごいと思うんです。それは、事業者の方がされるので、安心・安全のまちづくりという観点で協力依頼をさせてもらって、同じつけるんだったら、公道のところも少しカバーできるような形でされると、かなり防犯カメラの台数は上がってくると思うんです。

もう一つは、防犯カメラは6年という寿命とのことでしたけれど、結構維持管理が大変だということを言っているのを耳にしたりしますので、事業者のほうは自分たちでしっかり維持管理をしていくので、そういう意味ではかなり軽減できるし、台数も上がってくるのかなと思います。

ぜひ区、警察、それから町会が連携して、事業者さんのほうにも協力依頼のようなことをすると、100%じゃなくても、かなりのところは理解していただき、実行してもらえ、カバレッジが広がると思うんです。

**○黒田市民協働課担当係長** 委員からいただいた意見なんですけれども、我々も当然企業さんと協働しながら、防犯啓発活動を実施しているところでした、引き続き協力いただける企業様を、こちらのほうからアタックして、区として防犯活動を引き続き継続していきたいと思っております。

**○内野委員** プレートに協力事業者名とか、つけさせてもらうようにしておけば、事業者は堂々とそれをつけていくようになると思うんです。

**○黒田市民協働課担当係長** そういう意見も踏まえまして、今後の31年度の取り組みにさせていただきたいと思っております。

**○西口副部長** 防犯プレートの設置50枚というのが載っていますけれど、実際私どもの町会が15町会まであるんですが、必要枚数の調査時に56枚になったんです。56枚というのは、当然皆さん良識のもとで、上ってきたのが56枚で、配布結果を見れば50枚で、うちの町会は4枚ぐらいしかあたらなかったんです。もうちょっと数を増やしていただけないかと、実際は防犯カメラのところについているものもあれば、その周辺に防犯カメラがありますよという形の注意喚起並びに犯罪に対して

の抑止力効果のために付けるもので、防犯プレートもう少し増やしていただけないかなと思います。

○黒田市民協働課担当係長 防犯プレートの需要は思いのほか枚数があがっていましたが、地域によってもばらつきもありましたので、均等というような形でさせてもらったということですが、今後枚数につきましては、できる限り地域の要望を聞けるような枚数を購入していきたいと思っております。

○西口副部長 防犯カメラの台数を増やしていただけるのはありがたいんですが、一長一短にはいかないと思いますので。そこら辺も含めて、検討をしてください。

それと、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業の一番下に、目標「交通安全に関する知識が高まったと感じる区民の割合60%以上の目標に対し85.7%」という結果が書いてあるんですが、どのような方法でとられた結果なんでしょうか。

○前田市民協働課担当係長 目標60%以上に対しまして、実際アンケートの結果85.7%の方が交通安全に関する知識が高まったと感じていただいておりますが、場所が先ほどからご説明させていただいておりますスケアードストレート学習のとき参加いただきました方からとりましたアンケートの結果が、85.7%ということです。

○西口副部長 全般的じゃなくて、スケアードストレートのときにとられた分だけですか。

○前田市民協働課担当係長 そうです。

○西口副部長 ですから、それ以外にもやられたら、もうちょっと結果は変わるんじゃないかと思うんですけど。関心が高いのは、スケアードストレートでそれをとるといこともわかるんですけど、ほかの課題のときにとっていただいてもいいんじゃないかなと思います。

○前田市民協働課担当係長 そちらにつきまして、検討させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

○西村委員 防犯プレートの色なんですけれど、白い色ではわかりづらいんです。黄色とか、目立つ色にしないと抑止効果や啓発にならないと思うんです。去年つけていただいた防犯カメラは白いプレートなんです。注意して見ればわかるんですけど、ここにありますよという抑止効果は目立つ色の黄色とかそういう色にしてほしい。以前は黄色だったんです。去年は白色だったので、全然目立たないと思っていました。

○黒田市民協働課担当係長 防犯プレートにつきましては、目立つような抑止効果があるような色にします。

○田中部会長 車上ねらいというのが多いですね。車上ねらいとか、部品。この辺は何かつかんでおられます。

○黒田市民協働課担当係長 車上ねらいなんですけれども、鶴見区管内で多い状況になっておまして。平成28年は、187件で29年には、196件とプラス9件となっています。部品ねらいにつきましては、平成28年に65件で、平成29年には112件と。47件と倍増に近く増えているというような状況です。

警察も車上ねらい、部品ねらいについては、厳しくしていこうというところで、警察と一体となってしていきたいとおるところです。車上ねらいなんですけれども、実は車だけではなくて、駐輪している自転車にも当てはまりまして、例えば買い物をして別のお店で買い物をするとき、荷物を自転車のかごに入れたまま買い物をして、盗難に遭うケースがあるというようなことで、自転車のほうにも車上ねらいは発生しているという形になります。

それを注意喚起するために、啓発する必要がありまして、啓発ポスターを作成しまして、企業、店舗、例えばイオンモールとか、掲示を依頼するといったような形で取り組みをしたいと思っています。また、区のホームページでポスターを掲載して、どなたでもダウンロードできる手法によって、区内企業店舗にご協力いただきまして、街頭犯罪を少しでも減少させていきたいというような取り組みを考えていきたいと思っています。

○田中部会長　あと、どうですか。皆さん、今までのところ。なければ、次へ移りたいんですが、よろしいですか。

30年度までの取り組みについての説明がありましたが、31年度の方向性も議論の中で、何点か意見があったと思います。

例えば、西村委員がおっしゃったように防犯プレートの色をもっと目立つ黄色にするという意見もありましたし、枚数を増やしてほしいということもございました。あと、方向性について継続的改善というか、29年、30年、31年と少しずつでもよくしていくということが大事なことなので。そういう意味で改善する点があればお願いします。

○内野委員　さっき申しあげたように、事業者の人とか、法人の人たちを巻き込んで、トータルにされたらと思います。例えば、カラー刷りの防犯カメラ設置場所図をいただきましたけど、ここには公に設置された防犯カメラが書かれているわけですけど、それ以外に実際に防犯カメラがどこにどれだけついているのか、例えばこのエリアが足りないということであれば、例えばですけど、事例を出していえば茨田西小学校がありますけど、その裏通りにはカメラがついているけど、表通りはカメラが全然ついていなければそこを重点的に民間カメラの設置状況を調べるということをするとかかなりカバレッジとか見えるので、具体的に抜けているようなところを重点的に事業者の方も協力を得ながら、進めていくことということが大事かなと思います。

○西村委員　先ほど言われていましたが、うちのマンションの防犯カメラ道路のほうに向いているんです。二度、三度府警から見せてくれということで、実際捕まっておりますので。業者さんのそういうのを道路のほうを向けてもらうという取り組みもしていったほうがいいのではないかと、私も思います。

○西村委員　ちょっと公道のほうを撮す分には別に個人情報の問題もないと思います。

○田中部会長　私のところ鶴見北なんですけど、今道路についていまして、以前に

あった事例で、夜に交差点で車同士がぶつかったんです。男性が運転の乗用車と女性が運転の乗用車がぶつかりまして、男性が自分は青だと。女性の運転の車は赤だったと強く出たんです。白黒ついたのが、防犯カメラだったんです。防犯カメラを見ようかということになりまして見たら女性の方が正しくて、男性の方が赤だったんです。

交通事故、交通違反、犯罪にもすごく意味がある。防犯カメラを319台もつけて今年また20何台もつけるということはものすごく効果あると思います。内野委員がおっしゃったように、企業側にもちょっと協力してもらうような、取り組みをしたら効果がもっともつ出ると思うんです。

○内野委員 ステッカーなどをいただいて、協力していますとすると、少なくとも事業者は協力すると思います。

○田中部会長 そのほか何かございますか。よろしかったら、次の議題にいきます。

○前田市民協働課担当係長 30年度の方向性でございますが、何かご意見ございますでしょうか。

○西村委員 車のドライブレコーダーを、行政のほうでちょっとお手伝いしてつけると、交通事故の件数も減ってくるんじゃないかなというふうに感じておるんですけど、それは個人的な提案なので、助成するということはできないと思うんですけれど。

○田中部会長 役所のほうの助成は無理と思います。今、あおり運転とかも撮影できますから、すごいですね。

○西口副部長 高齢者への交通安全研修会ですが30年度に1回やられてますが、回数を増やしていただけるわけにはいかないのかな。

○前田市民協働課担当係長 現在、敬老の日の近くで1回やらせていただいております。

○西口副部長 敬老の日の近くの1回に限らず、ほかの日でも開催するような方向でやっていただけないか。

○前田市民協働課担当係長 去年でしたら、区役所主催で高齢者交通安全研修会を

区民センターで行ないました。お声掛けいただければ、鶴見警察署主催とか、鶴見警察署と区役所と一緒に地域の方が集まる場所に参加させていただきたいと思っております。

○西口副部長 各地域ふれあい喫茶とか、食事サービスをやっておられますが、12連合で一律に調整していただいて、講習会等に来ていただいたほうが集りやすいです。

それと、交通安全も大事なんですけども、特殊詐欺に関しても説明もしていただいたら、助かるなと思います。やはり詐欺にもパターンがあると思うので、パターンを紹介しないといけないと思います。

○前田市民協働課担当係長 ふれあい喫茶とかに、警察と一緒に邪魔して、各地域で実施しているところもありまして、今後、警察と連携しまして、特殊詐欺も含めて、ご高齢の方の身の安全を図る取組を検討し、警察と協働させていただきまして、実施していきたいと思っております。

○西口副部長 例えば、前田係長のほうにいついつ来ていただけますかという、そういう要望でもよろしいんですか。

○前田市民協働課担当係長 おっしゃっていただければ、警察と一緒にいけるようであれば、一緒に行きますし、区役所だけでも、行かせていただきます。

○西口副部長 わかりました。よろしく申し上げます。

○田中部会長 区役所が何かやっておられる、校長先生会合ってあるんですか。

○前田市民協働課担当係長 小学校・中学校の校長会が月に1回あります。あと、教頭会もあります。

○田中部会長 高校はないんですか。

○前田市民協働課担当係長 高校は、今のところ聞いていないです。

○田中部会長 高校生を巻き込んでということであれば、高校の校長先生なんかが集まられるときに、そういう注意喚起をしながら、こういう協力をしてほしいとかい

うようなことがあったらと思ったんですけれども、なければ仕方ないです。

○前田市民協働課担当係長 先ほどご意見をいただきました通学路に先生が立つ件と、学校で交通安全について啓発をしていく件は、また個別に校長先生なり、学校のほうにお願いにあがりたいと思っております。

○田中部会長 鶴見商業高校とか、茨田高校とか接触する機会は何かあるんですか。

○前田市民協働課担当係長 最近交通安全とか防犯とは違うんですけれども、学校ごとに防災の災害時の対応マニュアルを学校ごとにつくっております、府立高校の茨田高校も含めまして、市立の小中高校もつくっております。

つくる際に、各校からいろいろ相談を受けたりしておりますので、全く話す機会がないということではございません。また、そういうつながりもありますので、高校のほうにもご意見をお伝えして、啓発を進めていきたいなと思っております。

○河村区長 学校協議会が高校のほうでも開かれています。そういう場にも、区役所から行っていますので、そこで校長先生とか、地域のPTAの人とかとお話する場面がありますので、そこでそういう注意喚起というか、協力要請をしていけたらなというふうに思っています。

○田中部会長 校門の前だけじゃなく、お宅の高校生の通学状況を一遍先生、見てくださいというふうに思います。

○河村区長 僕、行った限りでは、認識はされているようなんですけど。

○田中部会長 ひどいですよ。実際毎日、見ていますけど。次にいきますけれど、よろしいですか。それでは次の災害に強いまちづくりについて、同じように平成29年度の取り組みの実績・評価と、それから平成30年度の取り組みについて、事務局から説明をお願いします。

○前田市民協働課担当係長 それでは、災害に強いまちづくりで、区民の安全・安心を担う総合的な防災力の評価ということで、説明させていただきたいと思います。計画といたしましては、地域の自主防災力強化のために住民・各種団体・学校と連携

した訓練などを行うということでもあります。防災等に対する理解が高まったと感じる区民の割合80%以上という目標に対しまして、96.8%の方が理解が高まったと感じているということです。

それでは、実績・評価につきましてのご説明をさせていただきたいと思います。写真にもございますが、12地域で開催いたしました避難所開設訓練などへ支援を行い、防災意識向上の啓発を行いました。今までの訓練は、町会ごとに一時避難場所に集まっていたいただいて、安否確認ののち、災害時避難所であります小学校へ行きまして、写真にございますように煙テントとか、水消火器などの体験を行っていただいております。

小学校で避難所を開設するまでの訓練はできておりましたが、開設した避難所を運営していくという実践的な訓練は、まだ地域で行えておりませんので、今年度につきましては、特に運営に関する訓練を行っていただくための支援を行ってまいります。

次の写真でございます。鶴見区安全・安心フェスタを12月10日に開催いたしました。29年度は区民センターと消防署で開催いたしまして、防災に関します参加体験型のイベントを実施いたしまして、防災の啓発を行ったほか、初参加のJR西日本によります踏切非常ボタンの模擬体験とか、自転車シュミレーターによります交通安全の啓発などもあわせて行いました。また、消防署のほうでは起震車の体験だとか、はしご車体験なども行いまして、約500名の方にお越しいただいております。

あわせて、同時に開催いたしました防災講演会では、著名な防災士をお招きいたしまして、防災講演会を実施いたしましたが、フェスタ自身を10時から開催したにもかかわらず、昼からの講演会を開いた結果、たくさんお越しいただいております来場者の方を講演会の時間まで引きとめることができないなど、実施方法の問題を残してしまいました。今年度は、講演会はありませんが、開催にあたりましては、周知方法を工夫いたしまして、広報紙やホームページのほか、区内にございますスーパーとか、家電量販店など、人の多く集まる場所でのポスター掲示などを行ってまいりまし

て、より多くの方にご参加いただけるようにいたします。

次の写真のつるみんピックですが、3月18日に鶴見緑地の小芝生で実施いたしました。当日は、鶴見区住みます芸人のラプトルズさんに総合司会をお願いしたり、小学校1、2年生の方に消防制服を着ていただきまして、開会式に参加していただくなど、工夫いたしました。

つるみんピック自体は、地域防災リーダーの日ごろからの訓練成果を競う場として、地域対抗の競技会方式にいたしまして、防災技術力を高めて、防災意識の向上を図るとともに、地域の結束力を高める効果がございました。

次の写真でございますが、防災学習会の写真でございます。災害時は特に中・高生の力が必要と思われまことから、防災意識を高めるために啓発を行いました。小学校・中学校に加え、29年度は初めて鶴見商業高校の高校生を対象といたしました学習会を行っております。30年度も引き続きまして、鶴見商業高校や小学校・中学校での防災学習を開催いたしまして、啓発を行ってまいります。出前講座でございますが、地域で3回、その他の場所で2回実施いたしております。さまざまな方を対象といたしました講座を開催することで、防災意識の向上を図ることができ、今年度も引き続き行ってまいります。

それでは、30年度の取り組みでございます。引き続きまして、地域の防災力を高めるための支援を行ってまいります。現在、各地域で策定されております地区防災計画でございますが、鶴見区内12地域中3地域でのみ完成しております。残る地域の策定を支援してまいります。また、先ほども少し申しあげましたが、開設した避難所を運営していくという実践的な訓練は、まだ12地域で行えておりませんので、今年度は特に運営に関する訓練を行っていただくための支援を行ってまいります。なぜ、このような訓練が必要かと申しますと、大災害時は区職員、消防職員も被災者となりまして、例えば夜間など、閉庁時の発災となれば、すぐに災害対応ができません。そのような中で、避難所の運営を行うのは地域の災害対策本部などが避難所運営委員会

など、各地域の自主防災組織が行うこととなります。あらかじめメンバーを決めて編成を行いまして、役割を知っていただき、いざというときのために訓練を行わなければ、有事の際には、急に運営できるものではありません。これらの備えや訓練が行えていないうちに、先日の地震以上の大災害が起これば、地域で運営することが困難と思われれます。熊本地震の際にも、事例があったんですけれども、区職員が避難所を運営しなければならなくなるということが想定されます。

では、先ほども申しあげましたとおり、区職員も被災者となりますので、実際はいつ区役所に来ることができるかもわからない状況でございまして、避難所内が無秩序で統制がとれない無法地帯となることが危惧されております。そこで、地域の災害対策本部や避難所運営委員会の組織づくりを始めまして、実践的な訓練を行うことが必要であると思われれますので、支援を行ってまいります。

先日の地震では、地域との間で、電話による状況確認を行いましたが、大災害のときは電話の通信制限がかかり、電話がかかりにくい状況でございました。そこに、MCA無線機を使いまして、地域に連絡を試みたんですが、電波は通じているはずなんですが、相手先が出ないために、情報を得ることが困難な地域もございました。毎月1回、無線訓練を地域と区役所の間で行っておりますが、使い方も含めまして、いざというときに訓練の成果を出せるように、今後も通信訓練を行うことはもとより、きちんとした運用ができるような周知を図りたいと思っております。

次に、安全・安心フェスタでございまして、10月21日に鶴見緑地のハナミズキホールで開催予定でございまして、今年度につきましても、参加体験型の防災学習を引き続き行ってまいります。

また、つるみんピックでございまして、防災リーダーの技術力を向上させて、地域の結束力を高めることに有効でございまして、引き続き開催いたします。今年度は、女性防火クラブの方に参加いただけるようにするなど、今までと違ったことを消防署と協議して行いたいと思っております。

また、防災学習会につきましても、継続して取り組んでまいります。特に鶴見商業高校で昨年は1年生に防災学習を行いました。今年はその生徒たちが2年生となっていますので、今年度は2年生を対象に去年からの継続した取り組みを行いたいと思っております。これらの取り組みにつきましては、広報紙やホームページ、ツイッターなどによります広報を行いまして、周知を図ってまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

また、31年度の方向性につきましても、ご意見をいただけたらと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

**○田中部会長**      ありがとうございます。今、前田係長のほうから災害に強いまちづくりについて、29年度の取り組み実績・評価と平成30年度の取り組みについての説明がございました。それと、先ほどと同じですが、平成31年度の方向性についても、ご意見がございましたら、ぜひお願ひしたいと思ひます。西口副部会長どうでしょうか。

**○西口副部会長**      6月18日の地震で、今まで私自身も人ごとと思ひていたんですが、実際起こってみて、教訓になることが多くて、私の地域の防災部長がマンションとかは安全だから、古い町並みのほうを見回ってくれないかということで、5人ほどで回ってもらいました。ブロック塀が倒れていないかなどを、みんなで確認はできたんですけども、そのとき連絡方法で一番強かったのがLINEなんです。携帯のLINEだけで、携帯電話や固定電話は通じなかった。災害対策本部を設置いたしました区役所から電話いただいたのは9時半ぐらいでした。MCA無線は公民館に置いているため、防災部長の家や個人宅には置いていないので、実際には役には立っていません。個人の家を持って帰っていいものではないので。ですから、一番何が有効的かというのは、小学校にある防災行政無線スピーカーですが、危ないですよ、地震がきましたという放送をされたかどうかみんな聞いていないです。実際聞いているのか、聞いていないのか、本当にびっくりして聞いていないかもしれま

せん。だから、防災行政無線スピーカーをもっと増やすことができないものかなと思います。今の若者はLINEという手法は知っていますが、高齢者の方はLINEという言葉だけ知っていて、どう設定したらいいかわからないのが現状で、万人向けではあるんですが、実際はすべての年代で使われているということではないので、もう少しみんなに伝わるようにと考えれば、防災行政無線スピーカーで地震が発生していますということを流してもらうため、もう少し電柱等につけていただけるのが一番いいかなと思います。防災行政無線のスピーカーの個数をもう少し増やしてほしいと思います。

**○前田市民協働課担当係長** 防災行政無線のスピーカーにつきましては、小学校や公園とか区内にございますが、区内全域をカバーできるように、聞こえるようには設置させていただいておるんですけども、一部聞こえにくいところがあるところのご連絡をいただいています。危機管理室には聞こえにくいというご意見いただきましたら、その都度伝えております。

聞こえにくいというのは、防災行政無線のスピーカーが屋外におられる方に対しての注意喚起ということで、室内におられた場合、条件により、何言っているのかもわからないというのは、確かにあると思います。特に冬場閉めきった状態で、お家の中でテレビつけられていたら、防災行政無線というのは聞こえにくいと思います。屋内におられたときに、防災行政無線が鳴っているなっていうのが少しでもわかれば、テレビとかラジオなどほかの手段で、情報をとっていただけたらと思っております。

増設につきましては、今の状態でほとんど区内全域がカバーできているという危機管理室の理解でございますので、今後増設してほしいというご意見はもちろん危機管理室に伝えさせていただきたいと思いますが、実際増設されるかどうかというのは、今のところお答えは難しいと思っております。

**○西口副部長** 企業さんに協力してもらうということは、不可能なんですか。例えば、有事の際にリフトとかを貸しますとか、うちもリフト持っています。企業さん、

例えばイオンさんとか、大企業さんに向けて、こういうことを依頼できないでしょうか。特にイオンなんかは、年に数回防災訓練のような避難訓練をされているんです。そういうことに便乗させていただくことはできないですか。

○前田市民協働課担当係長　今のところ市内には、民地にもスピーカーがあるところはありますが、鶴見区内ではそういうところはないんです。今現在の状況では、鶴見区内はカバーできているような状況でございますので。今後、そういったご意見を危機管理室のほうに伝えさせていただきます。

○西口副部長　予算もあることなので、防災行政無線のスピーカーが1カ所でも、2カ所でも増えてくれたら家の中で、情報をとるというのもできるようになります。それはあくまでも震度5か6ぐらいのときであって、震度7とか8っていうときは、そんな状態じゃないと思うんです。体で感じて、それで避難するしかないんですが、それまでに何か手を打てないかなということです。この間の大阪北部地震が震度6弱でしたでしょうか。

○前田市民協働課担当係長　北区で震度6弱、鶴見区で震度4です。

○西口副部長　それはある意味では警告かなということで身に感じました。その点でも防災行政無線のスピーカーの箇所を増やしてもらうことを考えていただければと思います。

○前田市民協働課担当係長　ご意見は危機管理室のほうに伝えさせていただきたいと思います。

○岡出委員　茨田南地域ですが、小学校は地域の南側にあります。小学校の北側には、高層の市営住宅とか多く建っています。その辺りの北側はほとんどスピーカーの音が聞こえないということで聞いています。危機管理室では周知できているようにおっしゃいましたけれども、そうではないのではないかと思います。

○尾崎課長代理　市民協働課の尾崎といいます。よろしく申し上げます。補足ではあるんですけども、今つけている同報系無線は、一斉に区内に流れる無線、同報系無

線というんですが、実はアナログ系の無線でして、相当古いスピーカーです。何年度になるかわからないですが、危機管理室のほうで順次それをデジタル系のスピーカーに替えていくということで、アナログだったら直進性しかないんで、超えていくとかというのがないんですが、デジタルだったら、ある程度の障がい物を超えていくというような性能も持っていますので、近い将来、今よりは聞こえやすい状態になると聞いております。

先ほど、前田のほうからもありましたけれども、外におられる方用に流すものであって、すぐにテレビやラジオをつけるだとか、そういった日ごろからの備えと申しますか、心がけを持っていただければ、情報というのは入ってくるかと思しますので、その点も含めまして、ご理解をよろしくお願いしたいと思っております。

**○前田市民協働課担当係長** 先ほどの岡出委員からいただきましたご意見ですが、小学校の向こうに高層住宅があって、聞こえにくいという点につきましても、危機管理室に報告します。

**○内野委員** 実績・評価のところ、防災学習会を7回されていますが、初めて鶴見商業高校で1年生を対象に災害時の高校生たちにできることについて学習会を行われたとのことですが、助ける側のところについても学習をされたということでしょうか。

**○前田市民協働課担当係長** 助けるほうに回るとのことですね。高校生としてできる、ボランティアのお話があったんですけども、ボランティアというのは、一見、敷居が高いようなイメージがあるんですが、先生がおっしゃっておられましたが、どんなことでもボランティアになるということで、例えば、ご高齢の方の話し相手になるとか、小さい子どもさんの面倒を見てあげるとか、力のある子については、プールから水を汲んで、トイレなどをお掃除したり、そういったこともボランティアなんだということで、敷居が高くないという説明をしていただいております。

**○内野委員** 東日本大震災でも被害が起こったとき、また、被害が起こる前から、

一番初めに具体的にお年寄りと子どもたちのお世話をしたのは、中学生や高校生というのを聞いています。そういうことを日ごろからやっていた町は、犠牲者が非常に少なかったというのは、きちんと出ています。ですので、今本当にすごくいいことだなと思いながら、中学生、高校生の方たちに、自分が助かるというのも、もちろんそうですけど、そのときに子どもさんやお年寄りに、具体的にどう自分たちが参加できるかということを学習されたのかなと思いました。ぜひ継続に重点的に実施してもらったらと思いました。そういう視点で実施してもらおうと、本当にすごい効果があると思います。

あと、具体的な形にしましたのは、避難所の開設運営訓練を12地域で30年度取り組むというのは、これは非常に効果が期待できるものと思うので、ぜひ重点的に取り組んでもらうといいなと思います。避難所開設運営訓練は事業者とか法人にも声をかけていただいて、一緒に参加させてもらえるといいなと思いました。

また、具体的な事例として、この間、副部長さんもおっしゃられましたけれども、大阪北部地震が実際に起こったので、恐らく大阪市の危機管理室でも、具体的な課題を随分整理されていると思います。具体的な課題を整理されたものを、鶴見区に置きかえてもらって、それで鶴見区だったらどうするとか、住民や事業者はどうするということに置きかえてもらおうと、イメージがものすごくわかりやすく動きやすいと思います。それが訓練にも反映できるのかなと思います。一般的なことでもこの間、大阪北部地震を経験をしているので、わかりやすいと思います。そういう取組みを30年とか、31年にさせていただくといいと思います。

**○田中部会長** 高槻で男性が一人亡くなっています。それも発見されたのは、1日ぐらいたってからでした。一人で暮らしている方がタンスなりの下敷きで亡くなっていた。だから、安否確認がどのように機能したのかなと思いました。

**○前田市民協働課担当係長** 今回、民生委員さんや、地域のふれあい員さんに区役所からお願いいたしまして、要援護者名簿をもとに安否確認に回っていただきまして、

ご協力をいただきました。幸いなことに、鶴見区内では、人的な被害は0でございました。

**○田中部会長** 内野委員がおっしゃったように避難所開設運営訓練ですが、往々にして思うんですけど、リーダーがしっかりしていたらいいんですが、リーダーがたくさんできてしまうとあっちこちのリーダーが勝手に動いたり、勝手に指示したりとなってしまう。一つのルールをつくっておくという訓練は必要です。例えば連合町会長が先頭に立って、誰に指示をすればどう伝わるということを確認しておかないと、下のほうから指示をすると混乱だけが残ります。の避難開設運営訓練で指示システムのマニュアルをもう一度確認したほうがいいと思います。

**○前田市民協働課担当係長** おっしゃっていただいたことをまさに訓練でやろうとしておりまして、地域の組織づくり、連合町会長さんがトップで、そこから指示を出していくというような訓練をやらせていただきまして、組織づくりができていないところは、区役所と危機管理室が入りまして、体制づくりから、サポートして訓練をやっていきたいと思っております。

実際に、訓練実施が決まっている地域も3地域ほどございます。前向きな地域も多くございまして、また今後も力を入れて取り組んでまいりたいと思っております。

**○田中部会長** 31年度の方向性という中で、そういう取り組みをなさるんだと思うんですけども、実施が決まっているのは3地域ですか。12地域ありますが、高齢者ばかりでマンパワーがない、力がないところもあります。

やっぱり力のあるところ、1地域か2地域で避難所開設運営訓練をサンプル的に実施していただけたら、全部やることはないと思います。12地域全部ではできないと思うので、1か所でも代表で実施してもらって、そこで確実にやるということだと思います。実施時は、12地域の連合町会長さんや役員さんは必ず出席していただきたいです。それを見学させていただいて、勉強する。目で見ておくということは、いつかそういう事態になったときに、役に立つと思うんです。

区役所としては全地域で実施しなければいけないのかもしれませんが、1地域でいいと思うんです。そこに、力を注いでリーダーなどみんなで見学をしてもらうという形で実施するということが大事だと思うんです。

**○前田市民協働課担当係長** リーダーが見学に行くというのは、すごくいいことと思います。実際に小学校に、地域の災害対策本部を立ち上げて、避難所を開設して運営していくということは、すごく意味がございますので、これは12地域で、全部でやってまいりたいと思っております。

また、訓練の情報につきましては、各地域にきちんと報告させていただきまして、どこがいつ実施するとかを含めまして、きちんと皆さんに情報共有していただけるような形で考えていきたいなと思っております。具体的には今、決まっておるのは、今津地域、茨田西地域、茨田南地域で具体的に日にちも決まっておるところでございます。

あとの地域につきましては、順次説明に回っておりまして、今年度どれだけできるか、まだわかりませんが、来年度も引き続きまして、実施できていない地域につきまして、強くプッシュするとともに、今年度実施した地域に恐らく1回ではきちんとうまいことできると思われませんので、そこで出てきた課題とか、問題点をこなしながら、また来年度も引き続いて、この訓練というのは、繰り返すことが大事かなと思っておりますので、ずっとやっていきたいと考えております。いろんな課題とか問題点を解決しながらやっていきたいと考えております。

**○内野委員** 実績・評価のところで、防災士の資格を持った著名人で防災講演会を開催したが、事前の広報や実施手法に問題点を残す結果となったということでございますが、私どものほうは、東日本大震災の後、防災士を育成しました。現在、10人が防災士の資格を持っております。

先ほどの避難所開設運営訓練も必要ですが、やはり防災士の方が地域の中で、育成されるようなことも必要だと思います。防災士の31年度の方角性ですけど、例えば

防災士を地域の中で、育成することを支援するというか、例えば消防署の方ですと、救急救命士とか啓発されて、受け継がれたりしています。それと同じように、地域の中での防災士の育成は必要と思いますが、地域活動されている方は高齢者の方が多いです。

でも、課題は働き盛りの人たちが現実的には支えのところに必要なんです。そういう人たちはなかなか地域活動に参加できない状況です。例えば、防災士の資格取得を目標にされると、働き盛りの方たちとも受けてくださったりして、具体的な地域の中の活動にも入ってきてもらえて、次の地域を支える人の育成にもなっていくのかなという気がします。だから、地域の中で防災士をある種のキャリアというか、資格のような形でとらえたらどうかということ町会長さん、連合町会長さんと相談され、兼務されるといいのかなと思いました。

**○前田市民協働課担当係長**      ありがとうございます。区のほうで、防災士の資格をとられる方に助成金というのは難しいと考えております。個人の資格でございますので、なかなかそこに公的な助成というのは、難しいと思いますので、今後はそういったことの必要性を周知、方法を考えながら、できるだけ取得していただけるような形で地域の自主防災力の向上に向けまして、広報をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

**○田中部会長**      助成は難しいと思うので、鶴見区としてそれを認定するという方法でいいと思います。私が言いたいのは、防災士の資格を持っている方に手挙げてもらうということです。基本はボランティアなので、災害時にそういう意識の高い人を確保するということで、区としても確保するということを考えられたらいいかと思います。

**○尾崎課長代理**      今ご意見いただいた防災意識の向上も含めて、自主的に防災に携わっていただける方というのが、まさに地域防災リーダーの方々が、それに当てはまるのではないかなと考えております。

先日の月曜日に発災をしました大阪北部地震で、防災リーダーの機能性が一つの大

きな課題ということを区としてもとらまえています。今回は地域活動協議会の皆さんや、つなげ隊の皆さん、民生委員の皆さんにご協力いただき、要援護者リストをもとに、安否確認をしていただきましたが、まさにおっしゃっています自主的、意欲的に防災に対して取り組まれるという方が、私たちが考える防災リーダーではないかなと考えておりますので、有事の際、どれだけ機能的に動けるのかというところをもう一度整理をしながら、初期初動の動きの周知、徹底を図っていきたいと思います。また、意識の向上もお願いをしたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○田中部会長　　あと、どうですか。皆さん、ご意見ございませんか。前田さんのほうから31年度の取り組みや方向性とかあればお願いします。

○前田市民協働課担当係長　　先ほども申しあげましたように、30年度12地域のうち何地域で避難所開設運営の訓練ができるのかわかりませんが、できたところもできなかつたところも引き続きまして、31年度取り組んでまいりたいなと思っております。継続した取り組みを行いたいと思っております。小学・中学・高校生も含めまして、学習会も引き続き取り組んでまいりたいと考えています。

○田中部会長　　西村委員のところは、今度、避難所開設運営訓練を実施されるのですか。実施日は決まっているのですか。

○前田市民協働課担当係長　　11月の18日に実施予定です。

○西村委員　　区役所からお話をいただき、実施日や運営のスタイルとか、いろいろアドバイスをいただきまして、避難訓練というのはできるのですが、避難所開設運営訓練というのはなかなか実際できないんです。問題が起きたときに、避難所運営は大事だろうなと思います。それと、私、民生委員もやっているんですが、LINEは本当に便利です。LINEで民生委員に一斉に連絡がきたんです。要援護者を回ってきたんですけど、今回高層住宅のエレベーターがみんな止まって、これは大変です。高層エレベーター動かないから、確認がなかなか大変でした。

一番わかっているのは町会長さんや班長さんが要援護者の状況はわかっておられる

ので、そういう方と連携することが大事じゃないかなと思います。安否確認は自転車で回りましたが、LINEが使えたら本当に連絡は便利です。

○田中部会長 実感されたんですね。

○前田市民協働課担当係長 おっしゃっていただいているように、今回本当に固定電話、携帯電話は通信制限がかかりまして、かからない状況になりまして、LINEは本当に使えてということでこの辺も皆さんに連絡の手段として有効であったというのは実体験としてありますので、今後は皆さんにもお知らせしていきたいと思っています。

ありがとうございます。

○田中部会長 どうでしょうか。あと、防災、直近で大きな地震が起こりましたので、まさか大阪でこんな大きな地震があるとは、みんな思っていなかったと思うんです。しかし、日本国中マップを見ますと、どこでも起こります。鶴見区は今回は、震度4で済んだんですけど、生駒の断層が動けば、震度6以上になるという話もございます。今回地震が起こった大阪北部は、有馬、高槻、生駒、上町断層があり、そのところで起こっているから、どっちに連動するかわからない。だから、生駒断層のほうで起こりますと、鶴見区周辺が同じぐらいの規模になるでしょう。

○前田市民協働課担当係長 上町断層が揺れたときには、やはり想定では鶴見区震度6弱、あと南海トラフ巨大地震の場合にも震度6弱というのが想定されております。発生確率でいいますと、よく報道でも皆さんご存じかと思われるんですけども、南海トラフの巨大地震につきましても、今後30年以内に70から80%の確率で起こると言われていますし、上町断層の地震につきましても、今後30年以内で確率的には3%ということなんですけども、ランクづけがありまして、Sランクって一番高いランクに位置しております。

過去の歴史からいうと、8,000年周期で上町断層は揺れているんですけども、歴史的に見ると2万8,000年くらい地震が起こっていないということで、いつき

てもどの地震が揺れてもおかしくないという状況でございます。

なので、今年もそうなんですけど、避難所の運営につきまして、それも含めて地域の自主防災力を高めるような事業をしていきたいなと思っております。よろしく願いします。

**○田中部会長**      こちらこそお願いいたします。鶴見北の防災訓練というのが、先週の日曜日にごさいますして、地震の後すぐだったんで、みんなそういう面では意識が高かった。6回目でマンネリになるかなと思っていたんですけども、今回はみんな真剣になりました。区役所の皆さん、特に前田さん初め、本当にマンネリにならないように新しいものを加えていただいていた。ありがたかったです。なかなか上手な説明でした。

また、福祉の関係の人に、食塩と糖分を交ぜて、水を飲むというのをやっていただいた。ちょっとした工夫でつくり方や、実際飲んでみるということでみんな興味をもってやっていたんです。家で簡単につくれるということも学びました。

それと、前田さんのほうで、敷物したり、上につっかえ棒やったりで家具が倒れない工夫とかしても、それは倒れます、時間稼ぎですと教えてもらいました。家が倒れたら、全部倒れてくるわけですから。そんな説明を聞いて、なかなかマンネリにならない工夫をしていただいたなど、感謝して参加させてもらったんです。

時間ももう迫っていますので、これで今までのところは終了でよろしいですか。何かございましたら、言っていただいたらかと思えます。

**○内野委員**      私どもの部会とは直接的な関係ないんでしょうけど、地域コミュニティという中の経営課題に「あいさつを通じてだれもが人のあたたかさを感じる活力のあるまちづくりになっている。」と書かれているんですが、安全なまちづくり、災害に強いまちづくりに直結する話だと思うんです。だから、コミュニティというよりも、これも全体のまちづくりの骨格というか、そんなふうに据えていただいて、日ごろからも本当に誰にでも挨拶をさせてもらったり、笑顔を交わすというのが本当に安全な

まちづくり、犯罪ないまちづくりに直結していくので、ぜひ特に鶴見なんかは大阪市北区とか、繁華街と違って、一番実現する施策だと思いますので、こういうところは本当にぜひ全体でとり上げていただきたいなと思いました。ちょうど見せてもらったら、これはと思いましたので。

**○前田市民協働課担当係長** 確かにご意見いただきましたように、例えば挨拶をすれば、防犯につながるというのは、見知らぬ人が歩いていて、「こんにちは」って挨拶をしたら、それだけでちょっと泥棒に入ろうかなと思っていた人が顔を見られたので、どっか行っちゃうとか。日ごろからお互いに挨拶をしていたら、お隣の人がどんな方かというのがわかりますし、おっしゃっていただきましたような骨格かなと、私も思っております。ありがとうございます。

**○田中部会長** そうですね。まさに挨拶をする。そこから関係が始まりますよね。

**○岡出委員** 避難所開設運営訓練を、うちの地域が実施するんですけど、災害救助部長にあたっていて、「お前中心でやれよ」と言われているんですけど、7月にスタートして、11月に実施するというので、こんなスケジュールで、最初と後ろだけが決まっているという状況です。頑張りますから、応援のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

**○前田市民協働課担当係長** よろしくお願ひいたします。ワークショップ大体2回から3回の予定でして、本番を迎えるまでに何回か集まって、決めごとというのがあります。

**○岡出委員** 7月中旬ぐらいと聞いています。

**○前田市民協働課担当係長** 実際11月4日が本番の日です。よろしくお願ひいたします。

**○田中部会長** 先ほど言いましたように、できないマンパワーの弱いところもありますので、そういう住民が。その人らの少なくとも骨格になる人が時間があれば見学にいうことを区役所からお誘ひしてほしいんです。できるだけ見学させていただける

ように、働きかけてあげてください。

時間もこういう時間になりましたので、ここで一応今日閉めたいわけなんですけども。今日、出されました意見は区役所と私のほうでまとめまして、次回の全体会議のときに、報告させていただくということになります。

これで本日の予定されていた議題は全部終わりです。皆さん、本当に活発な議論いただきまして、貴重な意見いただきまして、ありがとうございます。

**○前田市民協働課担当係長** 最後に、連絡事項を事務局のほうからしたいと思えます。本当に本日は、多くの貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

最後に、次回の会議の予定でございますが、第1回全体会を8月末ごろに開催させていただきます。全体会では、ほかの部会関連の自己評価につきましても、広くご意見を賜りたいと考えておりますので、お忙しいとは存じますが、どうぞよろしく願いいたします。

全体会の日程調整につきましては、また改めて調整させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。事務局からは、以上でございます。

**○田中部会長** これで、皆様、ご苦労さまでした。

閉会いたします。

**閉会 20時52分**